

ふくしの森ステーション

平成30年
3月号

みなみこまだより



所在地：上畑202番地（南高麗福祉センター内）

電話：978-9783

メール：station-minamikoma@hannosyakyo.or.jp

“はんのうふくしの森プラン”を知っていますか？

“5年、10年先を想像し、住民の皆さんと市と社協が力を合わせて、誰もがずっと住み続けたいと思える地域をつくっていこう”という計画です。

「住みよい地域をつくっていくこと」＝「地域福祉」について、下図のとおり、地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体のものとして、来年3月を目途に第3次はんのうふくしの森プランの策定を進めています。

全国的に高齢化が進み、若者が減少している中で、行政や社協による支援のみならず、地域にお住いの皆さんによる支えあいが必要となってきました。

詳細につきましては、併せてチラシをお配りしている「ふくしの森地区別懇談会」でもご説明いたします。南高麗の未来のためにぜひ皆さんの参加をお待ちしています。

～はんのうふくしの森プラン～

地域福祉計画
(行政計画)

市が取り組むべき
ことを定めた計画

地域福祉活動計画
(民間行動計画)

市民や事業所、
社協などの行動や
活動を定めた計画

「はんのうふくしの森プラン」これまでの取組 (下記は一例です。)

【知】 お互いを知り合う・分かり合う機会をつくろう

- ・小中学校における福祉教育の取組みの拡大
- ・「飯能アプリ」や「フェイスブック」などの運営による情報発信の強化

【交】 暮らしやすい移動・交通の仕組みをつくろう

- ・障害者を対象とする無償運送「福祉移送サービス」の開始
- ・交通政策室による交通政策に関する議論の本格化

中核の取組み

- ・ふくしの森ステーションの設置
- ・コミュニティソーシャルワーカーの配置

- ・地域福祉推進組織を6地区へ設立し、1地区準備中
- ・地区ごとの有償助け合い活動の拡大
- ・地域福祉推進組織(ささえあい南高麗等)の支援

- ・成年後見制度の担い手となる市民後見人を養成
- ・社協による法人後見制度の実施

【支】 支え合いの仕組みをつくろう

【安】 安心して暮らせる仕組みをつくろう

ご存じですか？ 近くの“老人クラブ”

少しでも気になった方は
ぜひお問い合わせください♪



地域の高齢者の皆さんが運営している団体です。
レクリエーションや奉仕活動などを通して、仲間づくりや交流、親睦を深めています。

現在、市内の各地域に26クラブ、約1,500名の方が参加されており、各クラブでさまざまな活動に取り組んでいます。

一例として…

- ・ゲートボール、グラウンドゴルフ
- ・ウォーキング、ハイキング
- ・カラオケ
- ・親睦旅行、お茶飲み会、食事会
- ・地域や自治会館の清掃活動、防犯パトロールなどなど、とても活動的です。



概ね60歳以上の方ならどなたでも入会できます。

“老人クラブ”という名称から、「私はまだそんな年齢ではない！」と敬遠される方も多いようですが、各クラブに名前があり、仲良く、若々しく、活発に活動しているクラブも多くあります。

加入方法、会費や参加費等は各クラブで異なります、また、お住まいの地域にクラブがあるかどうか知りたい等、お問い合わせは下記までお願いします。



お問い合わせ

老人クラブ連合会事務局（飯能市社協）

電話：973-0022

メール：syomukaikei@hannosyakyo.or.jp

CSWから一言



先日まで大変な盛り上がりを見せていたオリンピックは4年に1回ですが、表面の「はんのうふくしの森プラン」は5年に1回策定をしています。

5年前と比較して、地域における助け合いの意識が高まっていることを実感しております。

ぜひ、たくさんの方のご参加をお待ちしています。



次回の“ふくしの森ステーションみなみこまだより”は5月1日に発行します。
自治会の皆様、配布にご協力いただきありがとうございます。